



橋本健一郎氏
統領による発言を受けて、
政権による減税が米景気や
企業業績を押し上げるとの
期待が強まつたことからドル

高が進んだこと、一月の中国の自動車販売台数
は前年比〇・一%増の二、五二万台で、昨年二月
以来の低水準だったことなどのマイナス材料も
あつたが、チリのエスコンティダ銅鉱山でストライ
キが長期化している事、米フリーポート社が、
銅精鉱の禁輸となつていていたインドネシアで、二月
半ばまでに新たな輸出の認証を受けられなけれ
ばならない問題で政府との交渉が長引いている
事を好感しLME銅相場はUP、二月十五日
時点で六、一四五ドル(セツル)と月初価格より
二八ハドルUPの前半締めとなつた。

後半は、チリ・エスコンティダ銅山で二十日に
政府の仲介を通じて会社側(BHPビトリト)と
労働組合が協議を行つたものの物別れに終わった
こと、大幅減産となつていていたインドネシアのグラ
スベルグ鉱山を運営する米フリーポート社は銅
精鉱の輸出が止められていることで政府に対して
国際仲裁や損害賠償を求める可能性を示唆し
ていることなどのプラス材料もあつたが、中国高
官が不動産税の導入を示唆した事、政府発表の
二月の中国製造業PMIは五一・六に上昇、予
想の五一・一を上回つたのに對し、非製造業PM
Iが五四・二に低下したことを嫌気しLME銅
相場はDOWN、三月二日現在で、後半スター
ト価格から五ドルDOWNの六、〇四〇ドル。
銅建値七二万円のスタート。

◆月間のドル/円レート (TTS)

一一三・七四→一一三・六九(円)

◆自動車生産台数
日本自動車工業会によると自動車
前年比三・八%増の七六万一千、一三〇台であつた。

◆新設住宅着工戸数
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は
前年比一二・八%増の七万六千九二戸であつた。
万二、〇三五台。

◆貿易関連指標
輸出
財務省貿易統計によると、輸出は前年比で電
気銅が四〇・一%減の二万九千五百t、スク

自動車生産・販売増、住宅着工増

橋本金属 橋本健一郎氏 リポート①

ラップが四六・四%増の一萬六、三〇三t。

輸入

輸入は電気銅が前年比四七・七%増の一、九四
七一t、スクランプが三九・三%増の一萬一、九四
八〇t。

■前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)に
よれば、前年比五・三%増の六万一、五六九t。
銅電線出荷量の速報(推定)は、前年比〇・八
%減の五万三、七〇〇tであった。

■概況

【自動車生産】
一月の四輪車生産台数は七六万一、一三〇
台で、前年同月比三・八%増となり四カ月連続
で前年同月を上回つた。

輸出は三一万六、一二五台で前年同月比五
八%の減少。

【自動車販売】
二月の国内自動車販売台数(軽は除く)は三
一万二、〇三五台で前年比二三・四%増と、七
カ月連続プラス。

うち乗用車一四・四%増、貨物六・九%増、
バス二・五%増。

【住宅着工】
平成二十九年一月の住宅着工戸数は七万
六、四九戸で、前年同月比で一二・八%増
となつた。また、季節調整済年率換算値では
一〇〇・一万戸(前年比八・四%増)となつ
た。

・住宅着工の動向については、前年同月比
で七カ月連続の増加となつており、利用関係
別にみると、前年同月比で持家は減、貸家、
分譲住宅は増となつた。
・引き続き、今後の動向をしつかりと注視
していく必要がある。
(持家)

前年同月比では一二カ月ぶりの減少(前年
同月比〇・二%減、季節調整値の前月比では
〇・六%減)。

(貸家)

前年同月比では二カ月連続の増加(前年
同月比一二・三%増、季節調整値の前月比では
一八・〇%増)。
(六面へ続く)

